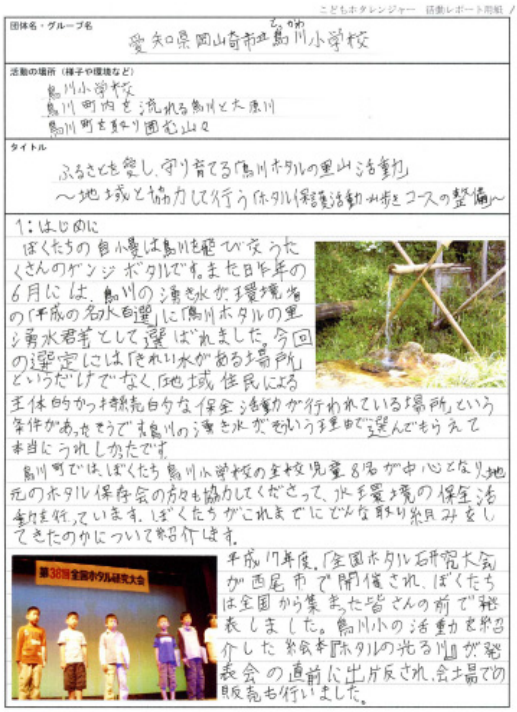
昨年度の活動レポート

○環境大臣賞（小学校の部）岡崎市立鳥川(とっかわ)小学校（10 枚中 2 枚抜粋）



こどもホタレンジャー　活動レポート用紙 1

団体名・グループ名

愛知県岡山崎市立鳥川小学校

活動の場所（様子や環境など）

鳥川小学校
鳥川町内を流れる鳥川と矢原川
鳥川町を取り囲む山々

タイトル

ふるさとを愛し、守り育てる「鳥川ホタルの里」活動
～地域と協力して行う「ホタル保護活動」みまもりコースの整備～

1：はじめに

ぼくたちの自慢は鳥川を飛び交うたくさんのゲンジボタルです。また昨年の6月には、鳥川の清き水と環境省の「平成の名水百選」に「鳥川ホタルの里湧水群」として選ばれました。今回の選定には「きれい水がある場所」というだけでなく、地域住民による主体的かつ積極的な保全活動が行われている場所」という条件があったそうです。鳥川の清き水がどういう理由で選んでもらえて本当にうれしかったです。

鳥川町では、ぼくたち鳥川小学校の全校児童8名が中心となり、地元のホタル保存会の方々も協力してくださって、水辺環境の保全活動を行っています。ぼくたちがこれまでにどんな取り組みをしてきたのかについて紹介します。

平成17年度、「全国ホタル研究大会」が西尾市で開催され、ぼくたちは全国から集まった皆さんの前で発表しました。鳥川小の活動を紹介した絵本『ホタルの光る川』が発表会の直前に出版され、会場での販売も行いました。

こどもホタレンジャー　活動レポート用紙 2

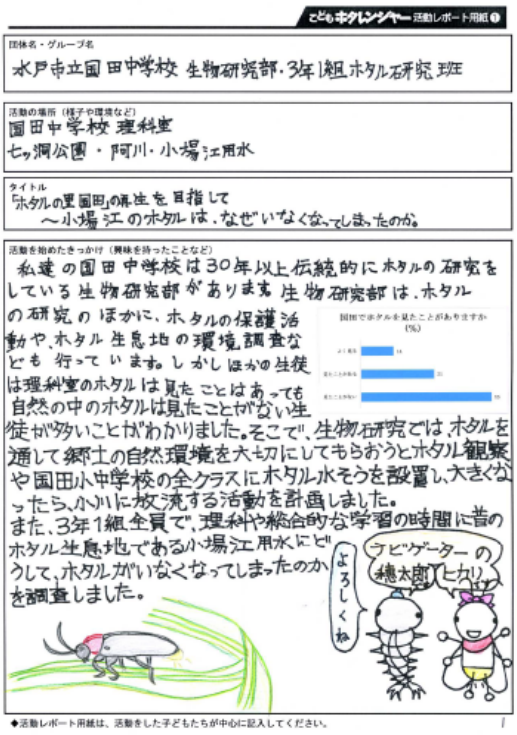
平成18年度、この年は「矢作川流域水質保全対策協議会」からの依頼があり、名古屋まで出かけて行って発表しました。この会場には第二東名の工事関係者もみえて、子どもたちがこんなにがんばっているのに、工事の影響でホタルが減ってしまったら大変。絶対にそんなことにならないようにします」との力強い言葉をいただきました。

平成19年度。今度は「愛知ホタルの会」からの依頼がありました。演奏会の会場に集まった皆さんからはたくさんの質問が出て、ぼくたちの活動が多くの方から注目されていることが分かりました。そして、「スタピア」というテレビ番組の収録がありました。お笑いタレントルネッサンスの木谷さん・西川さんが鳥川小学校に来てくださり、朝から日没まで丸一日かけて番組の収録を行いました。しゃぶしゃぶの二人と給食を食べたり、いっしょにサッカーをしたりして、とても思い出に残る一日になりました。「全校児童9名でホタルの保護活動をがんばっている超学校（すごい学校）」ということで全国に放送していただけました。

今年度平成20年6月28日には矢作川水系森林ボランティア協議会の皆さんといっしょに学校の前の山で「森の健康診断」を行いました。ぼくたちが調べた場所は100㎡あたり15本ぐらいがちょうどいい場所だなんと35本も植わっていました。講師のニワケンさんが「ここは超超込み過ぎ。ちから20本も切らないといけない」と言ってみえたので、びっくりしました。

また、その日に「朝日もりコロ里山学校」の森の健康診断を鳥川を会場に行いたい」という提案

○環境大臣賞（中学校の部）水戸市立国田(くにた)中学校（14 枚中 2 枚抜粋）



こどもホタレンジャー 活動レポート用紙 1

団体名・グループ名

水戸市立国田中学校 生物研究部・3年1組ホタル研究班

活動の場所（様子や環境など）

国田中学校 理科室
七ッ洞公園・阿川・小場江用水

タイトル

「ホタルの里国田」の再生を目指して
～小場江のホタルは、なぜいなくなってしまったのか。

活動を始めたきっかけ（興味を持ったことなど）

私達の国田中学校は30年以上伝統的にホタルの研究をしている生物研究部があります。生物研究部は、ホタルの研究のほかに、ホタルの保護活動や、ホタル生息地の環境調査なども行っています。しかしほかの生徒は理科室のホタルは見たことはあっても自然の中のホタルは見たことがない生徒が多いことがわかりました。そこで、生物研究部は、ホタルを通して郷土の自然環境を大切にしてもらおうとホタル観察や国田小中学校の全クラスにホタル水そうを設置し、大きくなったら、小川に放流する活動を計画しました。

また、3年1組全員で、理科や総合的な学習の時間に昔のホタル生息地である小場江用水にどうして、ホタルがいなくなってしまったのかを調査しました。

国田でホタルを見たことがありますか（%）

よろしくね

ラビゲーターの穂太郎・ヒカリ

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。 1

こどもホタレンジャー 活動レポート用紙 2

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

1. 国田のホタル生息地

阿川

大井戸

阿川や大井戸の近くには他にもホタルが自然発生している場所があるよ。

山の下の湿地に小さな小川が流れています。昔はたくさんホタルがいましたが、今は少しずつ減ってしまいました。

ここは、山の下にあるので、とてもきれいな水が豊富にあります。

七ッ洞や阿川に生息しているのはあもにゲンジホタルです。ヘイケボタルはあまり見られなくなってしまいました。

七ッ洞公園

今では、北の小川に少し見られるだけとなってしまいました。

国田中生物研究部がホタル保護活動を続け、今では、毎年ホタルが発生するようになりました。

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。 2

○環境大臣賞（団体の部）久米島(くめじま)ホタルの会（９枚中２枚抜粋）

こどもホタレンジャー 活動レポート用紙❶

団体名・グループ名
団体名：久米島ホタルの会　久米島ホタレンジャー
グループ名：宇江ホタル・ジュニアーズ

活動の場所（様子や環境など）
僕たちの活動のお場所であるホタル観賞周辺、久米島のマツ周辺の川は、豊かな自然景観が残された森で集落に囲まれた里山です。活動場所の浦地川、砂浜や海岸などは、豊かで美しい久米島を代表する自然環境です。ラムサール条約の登録や、県立自然公園特別地域にもなっています。

タイトル
久米島のきれいな水で生きている生きものを守り隊・守り隊家

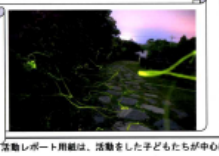
活動を始めたきっかけ（興味を持ったことなど）
僕たちが、久米島のホタルや自然に興味を持ち、活動をはじめたきっかけは色々です。僕たちは、たまたまホタル観賞に来て、周辺の川や緑で遊んでいたとき生きものの探しや釣りをしていた時子どもどうしで声をかけ合い自然で遊ぶのが好きならそれを守るために活動しなければと誘い合って呼びかけました。そのため、学校の友達同士で気軽に参加した人がいっぱいいます。また、ホタレンジャーの活動の中で、国の天然記念物のリュウキュウヤマガメや、保護されたキヅメトサワヘビを、保護区へ放す活動に一緒にさんかして、とても楽しいと感じてあるいみ大切だと気づいたことがきっかけで活動を始めた人もいます。また、調査や発表会などのホタレンジャー活動や、久米島ホタルの会のホタル観察会やリバーウォッチングなどに参加して良いなと思って参加した人もいます。教育委員会や学校を通して配られたホタレンジャー募集のチラシを見て参加した人もいます。僕たちは、自然を大切にすることでしか自然の大切さを理解できないと思っています。活動を始めたきっかけは、本当に色々ですが、僕たちにとっては、この活動がとても面白く、いろいろなことが学べる場所だと思っています。

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

こどもホタレンジャー 活動レポート用紙❷

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

ホタレンジャー開校式



久米島ホタレンジャー開校式が4月に開かれました。今年も1年間、僕たちはクメジマボタルとホタルにつながる生きものたちの観察や調査を通して、久米島の自然の大切さをみんなに伝えることができるように、活動していきます。

浦地川では20年ほど前からクメジマボタルが減少し、阿里川では10年ほど前からクメジマボタルがいないままです。浦地川では畑の肥料がたくさん含まれている赤土が大量に堆積していること、加えて阿里川では生活排水もたくさん流れ込んでいて、川の水に含まれている酸素がホタルやカワニナがたくさんいる久間地川より少ないことが原因であると考えています。

この結果から、浦地川や阿里川では、生活排水や赤土の流出を減らし畑から出る肥料や農薬を徐々に減らす工夫や努力をすれば自然が戻る大切な川であることを訴えました。

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。